

「常に郷土を想い続けている!」、「遠く離れた郷土置賜の若い人を応援したい!」、「若者を育てて地域を発展させたい」…常に郷土を思いつつ全国で活躍するパワフルな人的ネットワークでもある「公益社団法人米沢有為会」に、ぜひ郷土の人材の育成、教育と産業の振興にあなたの想いを託してください。

●年会費

正会員：本会の運営に直接参加する会員です。（総会で意思表示ができます。） / 7,000 円

賛助会員：本会の趣旨に賛同し、育英事業を援助します。個人 3,000 円 / 法人 10,000 円以上

- ご入会にあたっては、別紙入会申し込み書に記載の上、有為会事務局に送付くださるようお願いいたします。または担当者が直接入会金をお預かりし、手続いたします。（ホームページ <http://www.yonezawa-yuukai.org>からも手続できます。）

ご入会をお待ちしております!

お問い合わせ

本部（東京支部） 〒182-0004 東京都調布市入間町1-36 東京興譲館内
TEL・FAX / 03-3309-3302 E-mail / jimukyoku@yonezawa-yuukai.org

米 沢 支 部 〒992-8501 山形県米沢市金池5-2-25 米沢市秘書広報課内
TEL / 0238-22-5111(代表) FAX / 0238-22-5541
【我妻榮記念館】 米沢市中央3-4-38 TEL・FAX / 0238-24-2211

仙 台 支 部 〒980-0874 宮城県仙台市青葉区角五郎2-6-21 仙台興譲館内 TEL・FAX / 022-222-4790

京 都 支 部 〒610-0121 京都府城陽市寺田宮ノ谷29-166 谷 栄政 方
TEL / 0774-53-0988 FAX / 0774-53-0996

北 海 道 支 部 〒064-0801 北海道札幌市中央区南一条西8丁目 T・Gビル 7F
（株）日建社内 田村邦夫 TEL / 011-271-2585

※本会について、より詳しくは、米沢有為会公式ホームページ(<http://www.yonezawa-yuukai.org>)をご覧ください。

201311-1000

公益社団法人

米沢有為会のご案内

- 育英事業
- 人材育成



平成25年7月1日、新たになりました

上杉家第17代当主上杉邦憲氏と学生たち

社会に有為な人材を育て、地域の産業・教育の振興に貢献して124年

■発足・歴史 1889年(明治22年)11月23日、東京在住の伊東忠太博士ら6人により郷土愛を基調におく、相互の親睦と切磋琢磨を目的とした郷土関係者の団体として発足しました。そして1890年(明治23年)1月に情報誌「有為会雑誌」を発行し、以後1943年(昭和18年)まで510号発行しました。現在、復刊「米沢有為会々誌」63号を発行しています。

「有為な(国家と社会に役に立つ)人材を育てる会」という意味で「有為会」と名づけました。

1909年(明治42年)東京興譲館寮開設、1911年(明治44年)奨学金貸与制度発足
1914年(大正3年)仙台興譲館寮開設、1930年(昭和5年)札幌興譲館寮開設
1955年(昭和30年)山形興譲館寮開設と青少年育英事業に取り組んできました。

また1909年社団法人米沢有為会認可、2013年(平成25年)7月1日から公益社団法人米沢有為会として新たな発足をしました。



伊東 忠太 博士
建築家。東京帝国大学教授。
文化勲章受章。米沢市出身。
米沢市名誉市民。

■会 員 数 現在、正会員、賛助会員を合わせ1200名の会員を擁しています。

現在の活動

人材の育成



*1 奨学金貸与制度

毎年5名程度に奨学金(月額40,000円)を貸与し、就学を応援しています。
(卒業後、月額15,000円の返済。)

*2 学生寮

「東京興譲館」・「仙台興譲館」を管理・運営し、郷土出身学生等への寮費、月額2食付4万円(仙台)・4.7万円(東京)で提供し就学の便宜を図ることで幾多の有為な人材の輩出に貢献しています。現在、東京興譲館では22名、仙台興譲館では18名が共に学んでいます。寮生活を通じてコミュニケーション能力が高まり、就職採用実績が高く好評です。

*3 我妻榮記念館

郷土出身の民法学者(東京大学教授・文化勲章受章・米沢市名誉市民)我妻榮博士の生家を「我妻榮記念館」として管理・運営しています。

これからの米沢有為会

人材の育成

育英事業の実施

- 1》奨学金貸与
- 2》学生寮の運営
- 3》地域産業・教育・文化の振興
- 4》我妻榮記念館の管理・運営

- ➔ 1 ●奨学金貸与制度の拡大充実。
●会員増強・財政基盤の強化。
- ➔ 2 ●寮生活での協調性、コミュニケーション能力のアップ。
●国内外・地域社会で活躍する人材の育成支援。
- ➔ 3 ●地域の産業、教育、文化活動の推進。
●文化講演会、情報交換会、相互交流、各種顕彰事業の充実。会誌・名簿の発行。
- ➔ 4 ●民法学者我妻榮博士の生家の管理・運営を通して、資料閲覧研究、および地域並びに広く全国に学術の場を提供。
●PR・周知活動の充実。

